

まつもと版 里親だより vol. 3

師走に入り、寒さが身にしみる季節となりました。今年も一年ありがとうございました。
年末の多忙な時期ですが、どうぞお体に気をつけて、健やかにお過ごしください。

里親制度推進事業も、中信地区各地で、8月からパネル展・写真展・相談会が始まり、
伊賀-松本ではアルクマも登場し『里親を知る日』を開催し、反響をいただきました。

さて今回は、10月30日『養子縁組里親研修会』、11月20日『登録里親研修会』の様子を
お届けします。

養子縁組里親研修会

令和3年10月30日、波田公民館にて管内養子縁組里親向けの研修を行いました。
講師2名の里親さんの研修内容をお伝えします。

『養育の楽しさ』

K 里親さんには『養育の楽しさ』というテーマでお話
いただきました。印象に残っている内容をお伝えします。

まず『養育の(苦あれば楽あり?)楽しさ』との冒頭で始
まり、楽しいで語るなら(ほぼ)全て(お散歩・お出掛け・
子どものいる生活)が楽しい!

大変なトイレトレーニングも、一人で出来るようにな
った今となっては、もうちょっとお尻拭きたかったな。
試し行動もとことん付き合い、赤ちゃん返りも、私たち
夫婦の子どもとして生まれ直したいと考えているなら
ば、こんな嬉しいことはない。

苦勞も過ぎてしまえば、楽しい思い出に変わる。心持
ち一つで感じ方が変わる(ポジティブに)。今しか出来ない
体験を楽しむべき。

養育(される側)の楽しみの先は、子どもの幸せ。そのた
めに必要なことは、里親を孤立させない事。他の里親と
繋がり孤立しない事が大切。子どもも、里親会で他の特
養子と繋がり、自分の出生について「俺だけじゃないん
だ」と思える体験は、子どもの視野を広げてくれるかも
しれない。

苦勞の一つ『真実告知』 血縁関係は無く、あるのは信
頼関係のみ。嘘があると信頼関係も崩れる。年齢に応じ
て理解度が上がり、気になる事・聞きたい事は変化する。
自分の中の空白を埋め自己形成をしていく。「次はどんな
ことを聞いてくるのか?」それも楽しみの一つ。

子どもも出会いを心待ちにしている。

『縁のある子しか来ない』

『縁組成立後に解決していく事』

中信地区里親会会長 牟禮孝貴氏には『縁組成立後に
解決していく事』というテーマでお話いただきました。

養子縁組のお子さんを迎え入れた後も、豊富な経験と
余裕のある養育姿勢から、養育里親として、一時保護・
レスパイトなど多くの子ども達を受入れ、温かく見守っ
てくださる牟禮ご夫妻。

お話いただく中で、「重要なのはやはり、小さい頃か
ら年齢に合わせた『真実告知』を行うこと。」「単純に実
親の情報を伝えるのではなく、実親への捉え方(感謝)
やこれから親としての思いをしっかりと伝えていく。」

「ルーツ探し、ライフストーリーワークにおいては、
子どもが自分と向き合い、前向きに生きていけるような
支援をしていくことが必要」であることをしっかりと伝え
ていただきました。

学校生活で直面する「生い立ちの授業」「1/2 成人式」
においては、担任の先生にも相談をしておけば、「家庭
にもいろいろな家族があること。出産前後の事を話題に
するのではなく、現在の自分になるまでにどんなことが
できるようになったか、誰のお陰かなどの授業にしたい
」といった、配慮もいただけるそうです。

また皆さんからの積極的な質問にもお答えいただき
ました。「子どもはある日突然やってきたりするので、
しっかりした親にならねばと気負わず、子どもが過ごし
やすいように伸び伸びと、やりたいことをやらせてあげ
られる親になればいい。」「しつても、仕付け糸と同じで
本縫いではないので、普通に生きてきた中で、父母でよ
く話し合って、伝えていけたらよい。」とのお話もいた
だきました。

二人の先輩里親のお話に共通するのは、「とにかく一人で抱え込まないこと」「里親会など、里子共々交流を
深めることで、アドバイスや、お互いの悩みをシェアしたり、聞いて貰うだけでも、子育てに対する気負いが
解消できる」「独自の子育て感を優先せず、助言に耳を傾けること」でした。

里親会加入やサロン参加で、里親さん同士の繋がりを作るようお勧めします。

松本児童相談所管内登録里親研修会

令和3年11月20日松本市波田公民館にて管内里親登録研修会を取り行いました。コロナ感染予防の徹底にご協力いただき、久しぶりの集合研修会の開催となり、参加した29名の里親さんと充実した時間を共有することができました。

研修内容は、第一部では「被措置児童等虐待について」というテーマで、養育状況が密室化しない養育環境や虐待等の防止に必要な心構え等について今一度確認する時間をいただきました。

第二部では、松本児童家庭支援センター「あいく」の岡田センター長より、「心地よい関係づくりのために～今日からどこでも誰でもできるトレーニング～」というテーマで研修を行いました。『機中八策』（千葉県柏児童相談所長が考案した非暴力コミュニケーションの具体策）に触れ、実際にロールプレイングを取り入れながらの研修会となりました。いろんなエッセンスがぎゅっと凝縮した内容で、時間が経つのも忘れるほど参加された里親さんは熱心に取り組まれていました。ロールプレイングの内容も、実際に家庭内で起こり得る場面設定（テレビのチャンネルの取り合いや食事の食べ方等）が多く、「たいへんイメージしやすかった。すぐに試してみたい。」という感想を研修後のアンケートでいただきました。

全ての内容をお伝え出来ないのが残念ですが、『機中八策』のほんの一部を紹介したいと思います。

「コミュニケーションを円滑にする切り札（オレンジカード）」～ほまれかがやきを（誉輝きを）

- ほ・・・「褒める」えらいね。頑張ったねと声掛け。
- ま・・・「待つ」子どもも話せる状態になるのを待つ。
- れ・・・「練習してみる」実際にできるかいっしょに練習をする。
- か・・・「代わりにする行動を提示する」ていねいに何をするのか説明する。
- が・・・「環境づくり」いちおし環境とは、いつも、ちかづいて、おだやかに、しずかに。
- や・・・「約束」子どものレベルにあわせた約束。「いつ」「何をしてほしいか」を伝える。
- き・・・「気持ちに理解を示す」共感的に接することが大切。
- を・・・「落ち着く」大人も感情的になることはあります。リセットすることを心掛けて。

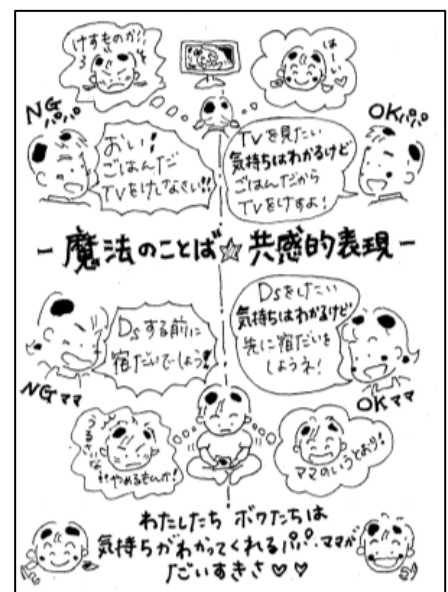


岡田センター長から、こんなメッセージもいただきました・・・

- 子どもと接する時、大人は欲張って頑張りすぎる人が多い。
- 大人も気持ちに余裕を持つことが大切。
- 感情的にならないよう意識し、引き分けでも良いという考えをもってみてはどうでしょうか。



※それぞれの研修で配布した資料を希望される方は、当所までご連絡ください。



養子縁組里親研修会の感想

辛さ苦しさも乗り越え
ると楽しいなあと
思うと、子育ての楽
しさをイメージでき
ました。

養子縁組後の話を、あ
らためて確認させて
いただいた。

何事も前向きに捉え、苦勞も楽
しさに変わる。お子さんと常に
対話し、思いを大事に伝えられ
ている姿を 参考にしたい。

駐車場が入りやすく
場所もわかりやすか
った。季節もよくゆ
ったりと楽しめた。

実体験のお話は
大変参考になっ
た。

子どもには嘘をつかず真実
を伝えていきたい。
子どもへの愛情の深さを
しっかり伝えていきたい。

知らないことばかりなの
で、勉強したい。
迎えた子どもの名前の由来
など、知っておいて伝えて
あげたい。

おにぎり会やくるみの
会など、横の繋がりがた
くさんあることがわか
った。法令など難しいこ
とも勉強になった。

登録里親研修会の感想

※被措置児童等虐待について

- ・児童は弱い立場、大人が守ってあげないといけないのに、今回の虐待は残念。児童福祉法の見直しと、里親としての自覚と責任がとても必要で大切。
- ・調査の内容について、里親の意見も十分聞いていただきたい。
- ・被措置児童等虐待について、深く掘り下げていただきたかった。
- ・被措置児童虐待については概要しか知らなかったなので、細かく丁寧に説明していただき確認できた。

※心地よい関係づくりのために

- ・対里子だけでなく、自分と関わる全ての人との関係作りにおいてもより良くなると、参考になった。落ち着いて、穏やかな毎日を送れると嬉しい・幸せだなと思うので、生活に取り入れたい。
- ・子どもに対してのアタッチメントが必要なことがよくわかった。問題が起こった時、具体的にやることがよくわかった。
- ・関係作りは、自分の精神状態が重要だと思った。
- ・大人の心の持ち方により、児童本人の心が揺れ動くことがよくわかった。
- ・本当に日常あることで考えることができた。里親だけでなく全ての親に共通する内容だった。
- ・夫婦でのロールプレイは良い経験。日常でもやっていきたい。子どもとの生活の中では、「ほまれかがやきを」（オレンジカード）がたくさん使えるようになりたい。
- ・今回ロールプレイを行ってみて、児童に対しての適切な言葉を見つけて、理解してもらうことの大切さを確認させていただいた。

※今後の研修に取り上げてほしい内容

- ・里親さんの色々なお話を聞きたい。ディスカッションできる場が欲しい。
- ・思春期の発達障がいの子どもの対応の仕方を研修したい。
- ・養子縁組里親なので、真実告知のこととか知れたら嬉しい。
- ・子どもの権利
- ・似たような研修があれば情報が欲しい。困ったことがある時の相談場所など、わかりやすく里親に伝えて貰えるとありがたい。

～里親推進事業 今後の予定～

「里親制度」について関心を持ち理解していただくための推進事業を、8月より中信地区各地で開催して参りましたが、松本会場の開催を残すのみとなりました。里親の皆さまの展示の観覧、相談会へのご参加、お知り合いの方へのお声掛け等、ご協力をお願いいたします。相談会に参加いただける方は、事前に松本児童相談所へご連絡をお願いします。

ポスター 展示	令和 4 年 2 月 25 日(金) ～ 令和 4 年 3 月 25 日(金) (予定)	松本市 中央図書館 松本市蟻ヶ崎 2 丁目 4-40
写真展示	令和 3 年 12 月 24 日(金)10 時 ～令和 4 年 1 月 29 日(土)15 時	松本市 イオンモール松本 風庭 1F 「エスカレーター南側・北側」 松本市中央 4 丁目 9-51
相談会	令和 4 年 1 月 29 日(土) 10:00～15:00	松本市 イオンモール松本 風庭 2F 「イオンホール」 松本市中央 4 丁目 9-51
お問い合わせ・相談会申込先 松本赤十字乳児院 TEL:0263-31-5206(平日9時～17時)		

大町市 相談会	毎月第4月曜 13～15 時 (変更 12/20・3/21)	大町市 児童センター(図書館駐車場東) 大町市大町十日町 4714 番地
大町市相談会のお問い合わせ・申込先 松 本 児 童 園 TEL:0263-47-0590(平日9時～17時)		

♥お出掛けください♥

★養子縁組里親サロン★

12/23・1/27・2/17

10:30～12:00 @波田公民館和室

申 込: 不要

【連絡先】松本児童相談所

電 話: 0263-91-3370

F A X: 0263-92-1550

★養育里親サロン★

2/5 (土)

10:30～11:45 @松本児童園多目的室
参加申込は、松本児童園をお願いします。

【連絡先】電 話: 0263-47-0590

F A X: 0263-47-0594

E-mail: matsuiji@go.tvn.ne.jp

※いずれのサロンも、中止の場合はホームページでお知らせします。

「松本児相版里親だより」や「里親サロン」の開催状況など、里親制度に関するお知らせは、下記松本児童相談所ホームページでご覧いただけますので、ご活用ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/matsuiji/images/satooya20210705.html>

(松本児童相談所→里親制度の推進 右記 QR コードもご利用ください。)



松本版里親だよりへのご意見、ご要望、投稿などお気軽にお寄せください。

皆さんと一緒に作る「里親だより」をめざしております。

松本児童相談所 住 所: 松本市波田 9986 TEL: 0263-91-3370